

南陽図書館つうしん 2012春号

名古屋市南陽図書館 〒455-0857

名古屋市港区秋葉一丁目130-79

電話 052(301)2116

FAX 052(301)2117

4月から開館時間が変わります！

4月1日（日）より、開館時間に変更になります。

☆午前10時開館→午前9時30分開館
☆土曜日は午後5時閉館→午後7時閉館
（祝日を除く）

したがって開館時間は

平日：午前9時30分～午後7時

土曜日（祝日を除く）：午前9時30分～午後7時

日曜日・祝日：午前9時30分～午後5時

となります。

これまでよりも開いている時間が長くなります。どうぞご利用ください。



新しく入った本から

■叙情都市名古屋 木村一成写真集

歴遊舎

「名古屋という都市は規模の割に語られる「町」が少ない。（編集者内藤昌康氏）。その思いから始まり、写真家と2人の編集者によって撮影された名古屋の「町」の写真集。名古屋港や下之一色近辺も多く収められています。



■何度も読みたい広告コピー パイインターナショナル

ふと見かけて、心をうばわれる言葉や写真。広告には時折そんなものがありますよね。優れた広告ができたその経緯や裏話などがわかります。

■遺体 震災、津波の果てに 石井光太編 新潮社

東日本大震災から1年になります。被災地から伝えられた人々の落ち着いた様子や支えあう様子は、国内外の人々の心をうちました。しかし当然、苦悩や悲劇や惨劇がそこにはたくさんあったのです。被災直後から現地に入った著者によるルポルタージュです。

■帰ってきた海馬が耳から駆けてゆく・2

菅野彰著 新書館

体をはって数々の体験をする作家の、ゆるゆる笑えるお気楽エッセイシリーズ・・・なのですが、在住の福島で東日本大震災に見舞われた経験を書いた章を含むこの巻は、やはり少しいつもと違う雰囲気。自らも被災しつつも、もっと被害の大きかった地域や、小さな子どもたちに思いをはせる。あの日被災地であったことの一端が伝わってきます。

この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

南陽地域 季節の風景

南陽図書館では、1ヶ月ごとにテーマを決めて本の展示をおこなっています。今年1月には展示用書架を導入しました。一般コーナーと児童コーナーの間の通路に書架を設置しておこなっていますので、ぜひご覧ください。普段は手に取らないような本との出会いがあるかもしれません。

■「被災地は、いま」（1月20日～2月16日）の展示では・・・

- 『奥州藤原三代 北方の覇者から平泉幕府構想へ』（斉藤利男／著 山川出版社）：被災地への玄関口である東北新幹線一ノ関駅は、世界遺産に指定された平泉・中尊寺への玄関口でもあります。
- 『OLIVE いのちをまもるハンドブック』（NOSIGNER／編 メディアファクトリー）：東日本大震災発生時、身の回りのものを使ってできる実用的なアイデアを集めたウェブサイトが立ち上がりました。その中から150のアイデアを厳選したハンドブックです。

■「人形の本」（2月18日～3月15日）の展示では・・・

- 『伝統こけしのデザイン』（cochae／著 青幻舎）：こけしはもともと、東北地方で生まれた玩具人形。さまざまなこけし（本当にさまざまなんですよ！）をとりあげていて、こけしの魅力を再発見できる本です。
- 『からくりー見る・作る・遊ぶー』（名古屋市博物館）：平成19年の名古屋市博物館での特別展の図録です。さまざまなからくり人形が、きれいな写真で掲載されています。



次の展示は・・・

■「グリム童話生誕200年」（3月17日～4月20日）

どんな本がならぶか、楽しみに！

南陽図書館からのお知らせ

＜行事＞影絵人形劇「赤ずきん」ほか



日時：2012年3月24日（土）

13時30分～14時30分

場所：南陽図書館2階 集会室

出演：グループかけえ

申込不要・幼児～小学校低学年向きですが、どなたでもどうぞ。

＜なごやっ子読書週間記念行事＞

「絵本カバーでエコバッグをつくろう」



日時：2012年4月28日（土）

11時～12時

場所：南陽図書館2階 集会室

対象：幼児～小学校低学年

（幼児は保護者同伴）

定員：15人程度

申込：不要

費用：無料

持ち物：はさみ

絵本のカバーを使って、紙製のエコバッグをつくります。気に入った絵本の表紙でバッグをつくろう！

この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。